

## 〔研究会報告〕

国府台学会研究会 (2021年度第2回)

# ベトナムにおける貧困削減の進展と今後の課題

グエン トウイ

## 1. 問題意識と本報告の目的

1975年に戦争終結を迎え、物的、人的に多大な損失を残したベトナムは復興に向けて歩み、1986年のドイモイ政策により市場経済を導入して大きく成長した。しかし1990年にはまだ人口の58%が貧困状態だったとされる。2000年代に入りさらなる成長を遂げてきたベトナムであるが所得格差や貧困削減という難しい問題に直面してきた。2020年には貧困率が2.75%と貧困削減が着実に進んでいるが、気候変動や新型コロナ禍が貧困問題に及ぼす影響も楽観視できない状態である。本報告の問題意識と目的は、経済成長の中でベトナムの貧困問題や所得格差がどのように変化し、その変化はどこに起因するものであるのか明らかにすることである。

本報告では結論として、現代ベトナムの貧困問題や所得格差の問題は主として農村に起因するものであることを示す。具体的には山岳地域や高原地域などに居住する少数民族の貧困、自然災害リスク等による農村部に多く存在する脆弱性（貧困から抜け出してもすぐに貧困状態に戻ってしまう状態）、都市農村格差ではなく農村内格差が重要な問題となっていることを明らかにする。特に持続可能な貧困削減には、脆弱性の視点が必要であることにふれる。

## 2. 農村の貧困と格差

2019年人口センサスによるとベトナムの全人口はおよそ9600万人であり、そのうちの65%が現在でも農村部に居住している。2001年から2010年の間にGDPは年率平均7.2%の伸びを維持し都市化も進んでいるが、一方で6000万人を超える人口を農村は擁しているから農村貧困や農村内格差といった問題はベトナムの経済社会にとって重要な問題である。また農村における高齢化も進展しており農業の継承問題や高齢者の貧困問題とも密接に結びついている。

たしかに年率7%を超える経済成長を背景に2014年には13.5%だった貧困率（政府の貧困基準線よりも下回る家計の全家計に対する割合）を2020年には2.75%まで削減してはいるが、ベトナムの貧困問題は農村問題と結びついて様々な形で現れるようになった。例えばそれは少数民族の貧困として現れる。また民族間、地域間の格差にも関係する。実際、ベトナム統計総局のデータによれば都市部よりも農村部において貧困率が高く、特に山間部の北部山岳、中部高原、中央沿岸北部などは依然として貧困率が高い地域であるこ

とがわかる。

所得格差についてはどうであろうか？ 2002年からのジニ係数の推移をみると農村部で格差は拡大，都市部の格差は減少していることが確認できる（農村内格差）。また地域別にジニ係数を確認すると，2014年以降，北部山岳丘陵地域と中部高原においてジニ係数の急激な上昇がみられ，所得格差が拡大していることがみてとれる。

さらに，貧困を一度脱却しても何らかのリスクでまた貧困状態に戻ってしまう世帯に焦点をあてた脆弱性（vulnerability）の概念でとらえると，2017年から2020年においてほぼ農村部をカバーする地域全域で脆弱性が深刻である。

### 3. 少数民族と貧困の状況

以上のように都市部よりも農村部，また農村部でも山岳・高原地域における貧困，格差の問題が深刻であることがわかった。他方，ベトナムには全人口（2019年）の86%を占めるキン族以外に53の少数民族が存在している。少数民族の人口分布を確認すると多くは北部山岳地域や中部高原地域に集中的に分布しており，貧困が集中し，格差が問題となっている地域と重なっている。

実際に多次元貧困率と呼ばれる所得基準と基本的社会サービスへのアクセスという2つの基準に基づく貧困指標の分布を確認するとほぼ少数民族の人口分布と重なる。またこの人口分布との重複は所得基準のみの貧困指標でも同様の傾向であった。

### 4. 少数民族の貧困削減

ゆえに少数民族の人々において貧困削減が困難な状況が考えられるが，それはなぜなのだろうか？ 例えば一つの理由としては社会的，文化的な壁，言葉の壁が考えられるであろう。少数民族はキン族の使用するベトナム語ではなく自らが属する民族の言葉を書いて話す。キン族は経済機会を多くもつので民族間の所得格差が生じやすい。第二に山岳地域に住むことが少数民族は多いので，質の高い土地へのアクセスが制限されがちである。第三に他の地域への移動が少ないので状況が基本的に変化しにくい。このように主として空間的，地理的要因と考えられるものがある。それ以外の理由として少数民族の教育水準の低さも考えられるが，この点はどうであろうか？ 少数民族の場合，高等教育において総就学率が低くなり，教育面でも格差があらわれていることが確認される。よって少数民族の子供たちに対する教育機会の提供は非常に重要である。また非農業就業機会を得られるか否かも貧困脱却の重要な鍵となるであろう。

### 5. おわりに

ベトナムの貧困削減は成功事例の一つであり，現在も農村の貧困問題，特に少数民族の貧困問題に関しては政府も「誰一人取り残さない」として近年強く意識し，様々な政策を展開している。また，全国的に脆弱性が深刻化しており，とりわけ貧困に陥るリスクが農村部，少数民族で高いのが大きな問題である。ベトナム政府は，持続可能な貧困削減の重

要な課題として、脆弱性にも着目し、継続支援や適切な貧困削減政策を見直すことが必要だと考える。

(2021.9.20 受稿, 2021.10.29 受理)